

借本屋 今昔の新板で
 了すと客 ならんぞ 類
 客 衆
 華 表
 全
 けいざいせんごのとあうい
 浮華川 志中れハ 兼知
 花こー 多 敵向り 乃
 明く 見 是ハ ヲレ

新編
 客衆
 華表



2132
 64



64
へ13倍
2132
64

客衆一華表

郷叙文庫

郷叙文庫

やぶら

天の下窓と情乃二表おのそが斯

書乃表著めく裏二歩の通用

物渡華の天色はひく喬次とそ

そも洪客の衿肩よ着ハ縹像も

小利の形よ肖く贖ハる客ハ自ら

郷叙文庫

郷叙文庫

軀こゝろ闊くわん窄さく一ひと虚こゝろと練ねん多おほ牛うし馬うまの
為よ均ひと一ひとたた古ふるははののびびよよ懸く
提あ脊せき肩かたくく能よくく立たつつりりのの借か金きんとと糶らう
服やのの風かぜ呂ろ敷しきととややいいんん一ひと生せいのの亂らん
多おほ彌や弥や砂さ乃のととくく真ま如ごと糸いとでで首くび乃の
メメくくとと縷いとのの結むす緯いと經いとのの志こころははくくははくく

楡い曳きのの衣えととんんババ何なににに然しかとと
帳と下したはは清きよきき中ちゆうににぬぬ身みととななららばば
彼か乃の川かみ柳やなぎのの所ところ謂い居い候こう
おおくくととあありりのの餅もちをを食くふふ癖くせもも
身みとと持もつつのの子こ等らのの禱いのちとと日ひ以い
がが大おほ事ことななららぶぶやや鳴な呼こゝろああ

そびり 行^ゆた^たハ^ハ朱^{しゆ}丈^{ぢやう}塙^{ばう}
 う^うる^る被^ひく^くと^と寄^よ裂^れといふ
 鍾^{しゆん}く^く智^ち目^めあ^あの^の端^はを^を錯^{さく}り^りと
 免^{めん}鼻^び毛^{もう}の^の尺^{しゃく}長^{ぢやう}と^とと^と何^{なに}く
 情^{じやう}か^かー^ーよ^よ足^あく^く綴^{ずい}合^がせ^せく
 急^{きゆう}立^た乃^の正^{せい}月^{げつ}公^{こう}物^{ぶつ}と^とと^と觀^{くわん}觀^{くわん}ハ

衣^い裳^{じやう}法^{ぽう}一^{いつ}乃^の華^け表^{へい}と^と評^{へい}判^{はん}
 と採^とく^くん^ん事^じ成^{じやう}



卿^{けい}と^とん^んど^ど法^{ぽう}一^{いつ}座^ざ

關^{かん}東^{とう}采^{さい}速^{そく}



客衆一華表

○丹波屋之套

楚其室の夢二ぬの枕よ發馬に驪山の快りの
 萬里の雲と隔つ equal 膏の瘡瘻と朝
 乃氣まくれまきの六きふ乃一昔
 傳へ古多屋のいろまが世に流雲成
 釋ら身とふ深だもうらとありまてお毒が
 さいしとまありらとまど再是と從ん

爰ニ鎌倉窟^{カマクラ}を固^{ツル}幅^{ハタ}ノ一^{ヒト}華表^{トナリ}雪之下^{ユキノシタ}
 表^ヲ通^ス燕亭^{エンテイ}莞^ノヲ并^{ナシ}入^ル數^{アヒタ}多^ク多^ク白^{シラヒ}拍子^{ヒヤウシ}遊^{ユウ}子^シ
 興^{キョウ}ヲ採^{トツ}テ多^タ錢^{セン}ヨク商^{アキナ}に長^{チヤウ}袖^{シウ}ヨク舞^{マシ}フ
 這^コ個^ノ風流^{フウリウ}ヲ名^ナヅケ表^ヲ神樂^{カミガク}ト喚^{ヨフ}サレバ
 美人^{ビビシ}羅帶^{ラタイ}長^{チヤウ}更^{セウ}ニ南^{ナニ}鐐^{リウ}一^{ヒト}片^ペノ情^{ニヤウ}ヲ垂^{ツク}盤^{パン}ス
 却^{サカ}後^ノかの八^{ハチ}弁^{ベン}を清^スハ今^{イマ}宵^ヨもお素^{ツマ}にあ^アのてを
 志^シこころ^ノ事^{コト}系^{ケイ}此^{ココ}切^{キレ}るごとくそ想^{オモ}へつま
 らぬ^ラる^ル舟^{フネ}と油^{アブ}ふ絞^シる^ル甚^シ塘^{ドウ}おせ^セへ程^{ほど}か^く

天^{テン}魔^マ堂^{ドウ}栲^{カク}猪^{シウ}牙^ガに根^ネ白^{ハク}了^{リョウ}あ^アこ^コ川^{カハ}て
 る^ルこ^コん^ンと^トま^マハ^ハこ^コら^ラう^ウに^ニ何^{ナニ}が^ガと^ト繼^{ツグ}お^オ場^バへ
 ら^ラま^マじ^ジや^ヤ後^ノへ^ヘ舞^{マシ}源^{ゲン}アイ^{アイ}特^{トク}長^{チヤウ}屋^ヤへ^ヘと^トん^ンを
 つ^ツお^オが^ガ出^デま^マす^ス其^{ソノ}巾^{キン}を^ヲな^ナし^シと^ト中^{ナカ}し^シよ
 め^メつ^ツの^ノ中^{ナカ}に^ニモ^モこ^コら^ラに^ニれ^レ栲^{カク}猪^{シウ}堂^{ドウ}の^ノ海^{ウミ}や^ヤ
 算^{サン}盤^{パン}海^{ウミ}も^モこ^コら^ラに^ニれ^レ名^ナ代^{ダイ}で^デし^シい^イし^シや^ヤと
 八^{ハチ}何^{ナニ}を^ヲこ^コら^ラに^ニれ^レ角^{ツノ}の^ノ内^{ウチ}を^ヲや^ヤめ^メ
 き^キあ^アい^イな^ナう^ウに^ニあ^アの^ノこ^コら^ラに^ニあ^ア

そり燈舟のたかひかへむかしてさうどくしおんは
まきこ原とんほはまゝらに軒なうらんて
ゆまし肉が物んせら代呂地をゆめ
はな声強いじんはしらて建申し
二軒のえうさうし肉で志んかうよりそめ
さうのれ物ん毎代を全善清がまじれて
おーとてのうよひかしまなさんてこんまて
はる物なてしんかかかこうて縣中らまら

たつまが急びすかうはん世にさしとて
表神樂の花村らうまてなぬいひら
し中へぬかんとてこの後を申さうら
瓢箪持并とてしんまてぬ原しうら
おらなひけ申おへたせ原とめ
早くまかひんがさうまてら坂
洲の中しんまてらしんまてら
しんまてら出さう早よこせんと今あて

角の春
戸やハ
春村の
わさり

はまき〜ゆ〜んか〜い〜ひら〜みおと〜ん
さんやあ〜い〜んよあ〜い〜れ〜んあ〜ん
せ〜んは〜ま〜く〜よ〜き〜ん〜と〜何〜ん〜
そ〜ん〜よ〜い〜ひ〜き〜く〜は〜ま〜る〜め〜の〜い〜
い〜く〜い〜表〜し〜ま〜る〜角〜の〜ま〜さ〜や〜が〜二〜階〜の
鐘〜ま〜ま〜亭〜頭〜の〜獻〜媚〜の〜と〜い〜ま〜
あ〜い〜も〜火〜の〜人〜徳〜と〜歌〜ま〜藝〜妓〜の〜空〜受〜の
マ〜と〜林〜市〜す〜と〜か〜と〜ん〜ら〜ら〜し〜し〜
ま〜

何〜ん〜は〜ま〜く〜ゆ〜んか〜い〜ひら〜みおと〜ん
い〜く〜い〜表〜し〜ま〜る〜角〜の〜ま〜さ〜や〜が〜二〜階〜の
鐘〜ま〜ま〜亭〜頭〜の〜獻〜媚〜の〜と〜い〜ま〜
あ〜い〜も〜火〜の〜人〜徳〜と〜歌〜ま〜藝〜妓〜の〜空〜受〜の
マ〜と〜林〜市〜す〜と〜か〜と〜ん〜ら〜ら〜し〜し〜
ま〜

と一十八そとちさんとうきくへんあよ
○あつちとらラヤあつちとらい母とて
いんい母いあよて
母いんのおくたまひん
いんい母いあよて
お出たらし母いあよて
いんい母いあよて
いんい母いあよて
いんい母いあよて

舞まいんい母いあよて
あちよい母いあよて
けいんい母いあよて
いんい母いあよて
まいんい母いあよて
いんい母いあよて
いんい母いあよて
いんい母いあよて
いんい母いあよて
いんい母いあよて

...の... お ...
ト... 國... 皆...
ハ ...
す... 福... 為...
外... 後... 中...
乃... 賞... 移... 人... 事...
あ... 願... 事... 事...

と... 公... 泊... 舟... 事...
な... 舟... 今... ぐ... ち... づ... ち... づ... ち... づ...
源 ...
あ... び... せ... び... び... び... び...
△... の... 舟... 舟... 舟... 舟...
お... び... び... び... び... び...
あ... び... び... び... び... び...
娘 ...
し... ば... ば... ば... ば... ば...
源 ...

しよんてんてんてんてんてんてん
なんじよんてんてんてんてんてん
あつてんてんてんてんてんてん
これらに教乃うまれ母手
すしんてんてんてんてんてん
あつてんてんてんてんてん
船くまろロトの納じや
いとてんてんてんてんてん

いまてんてんてんてんてん
まよひあつてんてんてんてん
かすてんてんてんてんてん
あつてんてんてんてんてん
あつてんてんてんてんてん
かすてんてんてんてんてん
あつてんてんてんてんてん
すしんてんてんてんてんてん

あつてんてん
あつてんてん

合 丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋

丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋
丹波屋 丹波屋 丹波屋

てし 枕とていへし 糸のまゝにたがひのよみ 二階に
いざません 母のまゝにいかにいふよる 心と私
がこゝろをいす せよ ^{上は何れの小品か} せよ ^{下は何れの小品か}
みられたまふひをいす ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か}
あつたひのひのひ ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} **ハ** ^{下は何れの小品か}
しとく ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か}
酒のよみ ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か}
まねき ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か}

てし 枕とていへし 糸のまゝにたがひのよみ 二階に
いざません 母のまゝにいかにいふよる 心と私
がこゝろをいす せよ ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か}
みられたまふひをいす ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か}
あつたひのひのひ ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} **ハ** ^{下は何れの小品か}
しとく ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か}
酒のよみ ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か}
まねき ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か} ^{下は何れの小品か} ^{上は何れの小品か}

おがましく ドクシヨウキョウシヨクノ **つま** アレサ ツカ 合羽を

こえませい ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り **つま** アレサ 合羽

おまじ ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り **つま** アレサ 合羽

つま アレサ 合羽 ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り

つま アレサ 合羽 ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り

つま アレサ 合羽 ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り

つま アレサ 合羽 ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り

つま アレサ 合羽 ト合羽と云りかろまくりのけあひて考り

毎月のころおのびんまぐるあうきやうじやう
承知し移入たるは百堀へままらへやうに
あまらうくらしまじやうづが移入よきんバ先
乃きやうが紙のりりの種堀といふもあつ
けへてぬきもあつと考り麻と明くさ氣お
くの移入ナニダとやまはけいしつ病便瘰
が出来てことしはけうでとんぬくやう
さうだがくしゅう衣物のさよ風でも

福がかきこがくこのふとんよわア志ん母
わうまのりかどがなつらこわのけ枕まくらの
出素志ひく陣笠ぢんかさやるる婦人ことら
志んよめいしつふ事まぐ志んこめる
よわも一年か志ん女が母と一後く娘
うら母さいらぶぶつつまラヤナドらやなといふ
志んよめ一年まじりれ志めりうく志んさう
かろのゆうな福入ふくいれ福何ふくなにがぞうし女

つらららららららららららららららら
中ね後ねよめいしつは福ふくがららららららららら
ららららららららららららららららららららら
ららららららららららららららららららららら
ららららららららららららららららららららら
ららららららららららららららららららららら
ららららららららららららららららららららら
福ふくのふくららららららららららららららららららららら
まらららららららららららららららららららららら

せ^ガ海^ノ中^ニは^一に^は人^ノを^めす^く寝^るも^さ
よ^めと^母と^志や^らる^る大^ニモ^シ海^ノ中^ニは^一
や^らる^る海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^るも^さ
し^ら夜^ノゆ^けの^ゆけ^よ海^ノ中^ニは^一人^ノを^め
す^く寝^るも^さ海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^る
あ^らる^る大^ニ酒^ノの^氣で^よめ^る
な^らる^る海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^る

氣^ノを^めす^く寝^るも^さ海^ノ中^ニは^一
な^らる^る海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^る
あ^らる^る大^ニ酒^ノの^氣で^よめ^る
な^らる^る海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^る
あ^らる^る大^ニ酒^ノの^氣で^よめ^る
な^らる^る海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^る
あ^らる^る大^ニ酒^ノの^氣で^よめ^る
な^らる^る海^ノ中^ニは^一人^ノを^めす^く寝^る

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a single column and includes several lines of text. There are some small square boxes or markers interspersed within the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a single column and includes several lines of text. There are some small square boxes or markers interspersed within the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

何れもいふにせぬやどけハ ホニ ハ ハ ちれ
がやうなるものにす人のせりよあしやと云
ふまどんとうぞとせらるるもいふんぞんといふ
とてしやうもいふやのをいふいふ今死
でもいふにせぬむくうのやうよ
飛着るの男のうらなう書の内れと
とらしむるもいふんぞんといふ
いふにせぬむくうのやう

いふにせぬむくうのやう
あつたむくうのやう
やういふにせぬむくうのやう
まはあつたむくうのやう
ト男のひびきに
をいふては ウタ ハ ハ ハ
いふにせぬむくうのやう チヤシ
おひびの ジヤシ ハ ハ ハ

冊
畢

○附言

夫人ノ處女ニ花鳥ノ便ヲ通シ他婦ニ
密契スル類皆吾儒一所謂不礼不
義歟氏モ是ヲ邪淫トスコレハ娼家ニ
遊ヒ青樓ニ入者モ大綱ヲ破ラサレバカ
介テ優リ順淫トシヘシ那一回有詩
爲証ト

五巽好景本無多
只有曉風殘月下

跋

借宿劇主人

管仲女閭七不妓戸氏

妃つこ子画子五日甚定を卓れ共

醉との酒の処より何の飲志

程よく娛く困るの渡船

新書しんしよ間ま艶えん史しとと閑かん趣しゆにに

識しとと溺おぼささぬぬハハ君きみ子こをを蕭せう洒さ也や

是こゝ切きくくとと云いふふもも不ふ止し可か

容あとと儀ぎのの情じやうよよとと乞ぎ細ちゆう臆おそ漢かんハハ

其その准しゆん管くわん仲ちゆう乎や



